

1 年学年だよ

吹田市立第二中学校 第一学年

2013 年 5 月 22 日 (水) 発行

No. 7

学年集会の話をお忘れなで！！

4 月に君たちが入学してきて、先生たちは新しい出会いにドキドキしていました。毎日、先生たちは職員室で一日あったことを交流して「かわいいなー」なんて話し、どの先生たちもこの学年で、すごくうれしい思いで過ごしていました。

が、残念なことに・・・



「仲間に対するひやかし、ちょっかひが多すぎる！」

軽い気持ちで言っているのかもしれないけれど、本人はいやがっているのに、勝手にあだなつけて広げていやな思いをさせたりする。相手がどう思っているかなんて考えもせず自分が楽しいからおもしろいからって軽はずみに同じ仲間を冷やかす。だから・・・トラブルになる！

先生たちはこの学年はとってもいい学年になれる！と思う。だから「しんどいなー」「学校行きたくないなー」と思う人が一人でもいる学年にしたくないのです。

今この学年はどうですか？ 振り返ってみよう。この一ヶ月。



人の嫌がることをして怒らせてしまったことのある人・・・

立った人は3分の2ほどいます。

正直に認めた人はえらいです。でも多すぎます。トラブルになるのは当たり前！この機会に「ごめんね」っていっておこうね。

中学校は小学校の延長ではありません。何が違う？ 中学校は「大人になる準備をする」3年間です。最後の義務教育で、卒業後の進路は様々です。

1人で生きる社会常識やマナーを学び、身につける期間です。大人の世界では自分勝手にしている人は受け入れられません。この1ヶ月を振り返って反省してください。

みんなが1人1人のことを思いやれる やさしい人、

やさしい学年 になってほしいです。 (大曲先生)

1年生には基礎教室に通う仲間もいます。そして、その基礎の人との間でのトラブルが多いことも事実です。なぜトラブルになるんだろう？

基礎の人がわがままだから？意地悪だから？…そういう訳ではないですね。

では他の人が意地悪なの？決してそうでもないです。まだお互いによりよい解決方法を知らないだけだと思います。みんな少なからず苦手なことがあると思うけど、基礎に通っている人は特におのこの課題を持っています。そしてその課題をより良く克服するために基礎教室にいて

います。

学校に来ているみんなは日々成長しなければいけません。そんな中で問題が起こるたびにいがみあっていたのでは人として成長も進歩もできないよね。



お互いに心に引っかかることがあったとき、大きな声でみんなに知らしめるように注意しても意味ないよね。いつも大きな広い心をもって接することによって、大きな声で注意するのではなく、何がだめだったのか説明してあげたりできるよね。とは言ってもこの話はすぐに解決できる問題ではないと思います。

でも **お互いにいがみ合う学年や仲間には絶対なってほしくない。**

今日の話は決してどちらがガマンしろという話ではないです。ガマンできないときには先生たちに話してください。少しでもいい解決方法を一緒に考えていこう。

先生たちの力だけではできません。

みんな115名の協力が必要なのです！ (荻野先生)

以上

学年集会での先生の一言一言がみんなの心に届いていることと信じています。